

再製造単回使用医療機器 (R-SUD) と SDGs

2023年11月8日(水)10:30～11:30

第5会場 (G303) パシフィコ横浜ノース (神奈川県)

単回使用医療機器 (Single-use device : SUD) は、既存の病院設備では再処理することはできず、一回使用後は廃棄することが求められています。これまで安全性への懸念から、たびたび注意喚起され、SUD を適切に取り扱うことが周知され続けてきました。

2001年以降、欧米でSUD再製造制度が開始し、日本では2017年に単回使用医療機器再製造制度が施行、国内初の再製造SUDが2019年に承認されました。

単回使用医療機器再製造制度は、使用済みのSUDを資源ととらえ、企業がその責任のもとで、病院から収集後、適切に分解・洗浄・部品交換・再組立・滅菌等処理を行い、再び使用できるよう「再製造」し、製造販売承認を受け、販売する仕組みです。加えて、物価高騰、資源調達の困難さから、医療機器の流通にも影響があり、病院としてSDGsに取り組む必要性を考え実践することが重要です。

座長 洪 愛子 先生

神戸女子大学副学長
看護学研究科教授

講師 井上 大輔 先生

「R-SUD に係る行政の取り組み」

厚生労働省 医薬・生活衛生局
医療機器審査管理課長補佐
再生医療等製品審査管理室長

講師 増淵 真澄 先生

「R-SUD に係る病院の取り組み」

獨協医科大学病院 手術部・材料部
看護師長

